

第4回 BeLive キックオフミーティング

【イベント概要】

- ・「BeLive」プロジェクトのご紹介
- ・参加者より取組／課題についての発表
(事前申込制、希望者のみ)
- ・高校教員×企業担当者ディスカッション
- ・フリー交流

高校教員× 企業担当者の 交流会

2023.05.20 Sat
13:30~17:00(受付:13:00~)

ちゅうぎん岡山駅前ビル4階会議室
(岡山市北区本町 2-5)



BeLive

主催・運営：BeLive 実行委員会 / 共催：一般社団法人岡山経済同友会

【お問い合わせ先】〒700-0942 岡山市南区豊成 3-18-7 (株) iプランニング KOHWA 内
BeLive 実行委員会 事務局 担当 黒江・中谷 TEL：086-264-5888 FAX：086-262-1525
WEB：https://www.kwp.co.jp/belive/ E-mail：belive@kwp.co.jp

「第4回 BeLive」キックオフミーティング

高校教員と
企業担当者が
出会う機会

趣旨

「第4回 BeLive」では、「高校生×企業」をテーマとして掲げ、高校生と企業が関わり合いながら、社会課題に挑むことをサポートします。高校生のSDGsへの先進的な取組に協力、支援することで、岡山の持続可能な発展に貢献し、地域全体を盛り上げるモデルケースの創出を目的としています。

本イベントでは、高校教員の皆様と企業の皆様とが互いの現状について共有し、高校生が社会と繋がるためのきっかけを創出します。

タイムスケジュール

13:35～ 開会挨拶

BeLive実行委員代表 実行委員長 梶谷 俊介 氏

13:40～ BeLive紹介

BeLive実行委員 坂越 生章 氏

14:00～ 高校・企業 取組紹介

岡山県立岡山工業高等学校
岡山県立玉野光南高等学校
オカネツ工業株式会社
株式会社山陽新聞社
大松精機株式会社
服部興業株式会社
株式会社マルイ

14:20～ 休憩

14:35～ グループディスカッション&ワーク (グループチェンジ3回)

1部「高校生にどのような学びが必要か」
2部「高校生にどのような学びの場を作ることができるか」
3部「高校×企業、高校×高校など多様な繋がりをどう生み出せるか」

16:20～ アンケート入力

16:30～16:55 フリー交流

16:55～ 閉会 挨拶

BeLive実行委員 室 貴由輝 氏



「第2回 BeLive」アフターイベント交流会



「第3回 BeLive」プレゼンテーションイベント

参加企業・団体・高校

企業・団体

No.	企業・団体名 (敬称略) (五十音順)
1	オーエム機器株式会社
2	オカネツ工業株式会社
3	株式会社岡山コンベンションセンター
4	国立大学法人岡山大学
5	カンコーマナビネクト株式会社
6	関西プラスチック工業株式会社
7	株式会社廣榮堂
8	山陽学園大学
9	株式会社山陽新聞社
10	株式会社瀬戸内海放送
11	大松精機株式会社
12	中国電力株式会社 岡山支社
13	株式会社トヨタレンタリース岡山
14	ネットトヨタ岡山株式会社
15	服部興業株式会社
16	平林金属株式会社
17	株式会社ベネッセホールディングス
18	保健学科 SDGs アンバサダー Copain
19	株式会社マルイ
20	株式会社丸五
21	三井住友銀行
22	美作市議会

高校

No.	高校・団体名 (敬称略) (五十音順)
1	岡山教育事務所
2	岡山県教育庁 高校教育課
3	岡山県教育庁 高校魅力化推進室
4	岡山県健康の森支援学校
5	岡山県立岡山工業高等学校
6	岡山県立岡山城東高等学校
7	岡山県立岡山芳泉高等学校
8	岡山県立岡山御津高等学校
9	岡山県立笠岡商業高等学校
10	岡山県立勝山高等学校蒜山校地
11	岡山県立倉敷商業高等学校
12	岡山県立倉敷青陵高等学校
13	岡山県立倉敷南高等学校
14	岡山県立倉敷鷺羽高等学校
15	岡山県立総社南高等学校
16	岡山県立玉野光南高等学校

BeLiveとは

「BeLive」は、高校生の持つ柔軟な発想と岡山に根差す、企業・団体の力を掛け合わせたSDGsの取組・発表を通じ、岡山の新しい未来を創造するプロジェクトです。

プロジェクトを通じ、

- ・高校生と行政・企業の連携を深め、地域の「SDGs」活動をより活性化させること
- ・取組を通じて、高校生に地元「岡山」への愛着や関心を高めてもらうこと
- ・高校生と企業が関わり合うことで、県内就職を考える一助になること
- ・高校生の自由で柔軟な発想に触れることで、企業も新たな視点を見つけることなどを目的としています。

BeLive実行委員会では、今年度も県内の高校生によるSDGsに関する取組を支援する「第4回 BeLive」プロジェクトの一環として、プレゼンテーションイベントを2024年2月に開催します。「第4回 BeLive」でも、サブイベントを複数回開催し、高校生・高校教員と企業が関わり合う機会を設け、ともにSDGsに関する課題に挑むことをサポートし、取組の深化へと伴走していきます。

「第4回BeLive」イベント予定

○高校教員×企業 スタートアップイベント（令和5年4月19日開催）

高校教員と企業関係者によるディスカッション、交流の実施

○高校教員×企業 キックオフミーティング（令和5年5月20日）

高校教員と企業関係者によるディスカッション、交流の実施

○高校生×企業 交流イベント①（令和5年7～8月頃）予定

高校生と企業関係者によるワークショップ、交流の実施

○おかやまSDGsフェア2023 出展（令和5年8月2日～3日）

BeLiveプロジェクトの周知・広報の機会として参加

○高校生×企業 交流イベント②（令和5年11月頃）予定

高校生と企業関係者によるディスカッション、交流の実施

○第4回BeLive プレゼンテーションイベント（令和6年2月3日）

高校生によるSDGsに関する取組の経過や成果の発表、表彰



第1回 BeLive
（くらしき作陽大学 作陽短期大学 10号館 藤花楽堂）



第2回 BeLive（おかやま未来ホール）

BeLive実行委員会メンバー

実行委員長

梶谷 俊介（一般社団法人 岡山経済同友会 代表幹事）

実行委員

狩野 光伸（国立大学法人岡山大学 副理事
SDGs・ダイバーシティ&インクルージョン担当）

藤木 茂彦（一般社団法人 岡山経済同友会
SDGs研究・推進会議 座長）

服部 俊也（一般社団法人岡山経済同友会）

室 貴由輝（岡山県教育庁 高校教育課 高校魅力化推進室室長）

岡山 一郎（株式会社山陽新聞社 論説委員会 論説主幹）

武田 憲和（株式会社中国銀行 地方創生SDGs推進部次長）

中山 奈都美（株式会社中国銀行 地方創生SDGs推進部）

事務局長

廣野 景治（株式会社iプランニングKOHWA 代表取締役社長）

未 来（株式会社オーリス）

川崎 好美（岡山県総合教育センター 指導主事）

横山 はるな（就実大学）

甲斐 明日香（服部興業株式会社 総務部 主任）

坂越 生章（株式会社iプランニングKOHWA 活性化推進室 室長）

岡崎 喜一郎（株式会社中国銀行 秘書室）

片山 貴志（岡山トヨタ自動車株式会社 管理本部 経営管理室 人事グループ マネージャー）

1 オーエム機器株式会社

SDGsや探究活動に関する取組

5・ハラスメント規定などの整備 ・子育てのしやすさに配慮した柔軟な対応 ・男性社員の育児休暇取得推進

SDGsや探究活動に関する課題

・男性社員の育休取得で間接作業者と現場作業者を比べると現場作業者の取得が進んでいない。・社員の人が相談しやすい環境づくりや社員へのハラスメント教育を定期的に開催していく

所属

氏名

メールアドレス

電話番号

2 オカネツ工業株式会社

SDGsや探究活動に関する取組

SDGsフェア2023年8月2～3日岡山コンベンションセンターにて出展いたします。「ラジコン」AI電動草刈り機「AIRAVO U」AIハイブリット草刈り機「AIRAVO」を出展いたします。

SDGsや探究活動に関する課題

吉備の環プロジェクト2022年度において山陽新聞社の企画である地元の海を守るプロジェクトに参加しました。ゴミ拾いをする前段階の準備である草刈り作業（ラジコン機を使用）をお手伝いいたしました。

所属

氏名
アリモト ミチノリ
在本 倫規

メールアドレス

arimoto@okanetsu.co.jp

電話番号

086-948-3981

3 株式会社岡山コンベンションセンター

SDGsや探究活動に関する取組

2019年11月、センターの一角に「おかやまSDGsプラザ」を設置し、「高校生夏の交流会」などSDGsに関する情報の交流と発信を行っている。おかやまSDGsフェア実行委員会の事務局として、本年8月のフェア初開催に向けて準備中。

SDGsや探究活動に関する課題

SDGsに関する継続的な情報ネットワークの構築

所属

氏名
オノ ノリオ
小野 典生

メールアドレス

ono@mamakari.net

電話番号

086-214-1000

4 国立大学法人岡山大学

SDGsや探究活動に関する取組

防災・災害対応領域で、サステナブルな災害支援の在り方の研究と実践に取り組んでいます。

SDGsや探究活動に関する課題

岡山大学としてより多くの地域のみなさまと協働しながら防災・災害対応力を高めていければと考えています。

所属

ヘルスシステム統合科学研究科

メールアドレス

nahokoharada@okayama-u.ac.jp

氏名
ハラダ ナホコ
原田 奈穂子

電話番号

070-1009-8710

5 カンコーマナボネクト株式会社

SDGsや探究活動に関する取組

企業と学校を繋ぐサポート役のような活動を展開しています。生徒が自身の将来・キャリアについて考える探究の授業や職場体験のコーディネートなどを担当させていただいています。

SDGsや探究活動に関する課題

現在の取り組みを持続可能な形にしていくために、ヒトモノカネといった資源をどのように生み出して、どう活用するかという点を課題に感じています。

所属

氏名
ヒラマツ ユミ
平松 祐美

メールアドレス

yumi.hiramatsu@k-manabonect.co.jp

電話番号

086-280-8585

6 関西プラスチック工業株式会社

SDGsや探究活動に関する取組

弊社ではSDGsについての取り組みがうまくできておりません。今回のキックオフミーティングに参加して他社の取り組みについて学ぶことが出来ればと考えております。

SDGsや探究活動に関する課題

弊社ではSDGsについての取り組みがうまくできておりません。今回のキックオフミーティングに参加して他社の取り組みについて学ぶことが出来ればと考えております。

所属

営業部

メールアドレス

k.taketa@kanpla.com

氏名
タケタ カサヤ
武田 和也

電話番号

080-2940-1041

7 株式会社廣榮堂

SDGsや探究活動に関する取組

創業時の手づくりの味にこだわった「むかし吉備団子」の主原料であるもち米は、岡山市高松地区の契約農家の特別栽培米を使用している。安心安全な素材の原点である「かけがえのない田んぼ」を守るために、田植え・稲刈りの時期には社員が足を運んでいます。

SDGsや探究活動に関する課題

「フードロス」の問題です。食品会社としては意識している問題ですが、具体的にはまだまだ動けていません。会社としては返品率の目標を掲げ意識付けをしています。

所属

社長室

メールアドレス

konishi_y@koeido.co.jp

氏名

小西 祐貴

電話番号

080-2910-9491

8 山陽学園大学

SDGsや探究活動に関する取組

学生が地域の企業、NPO、行政などで地域の魅力発見、課題解決の提案を行う場をコーディネートしています。学生がこうした地域活動を通じて、持続可能な地域づくりの人材になるために必要なスキルを身につけられるよう教育に取り組んでいます。

SDGsや探究活動に関する課題

持続可能な地域づくりに資する活動はすぐに結果が出るとは限らず、継続的に取り組みをステップアップしていく必要がありますが、学生が入れ替わるため、どのように活動を積み上げて継承していくかが課題です。

所属

社会マネジメント学部

メールアドレス

sakai_masaharu@sguc.ac.jp

氏名

酒井 正治

電話番号

070-8396-4862

9 株式会社山陽新聞社

SDGsや探究活動に関する取組

世界の報道機関などの枠組み「SDGメディア・コンパクト」に2022年7月30日付で加盟しました。学校への出前授業や子ども新聞の発行により、情報リテラシー教育に努め、瀬戸内海のごみ削減運動も進めています。

SDGsや探究活動に関する課題

マイバッグの携帯など、個人個人が小さなことから積み上げないといけないが、地球の温暖化を食い止めるには企業、自治体、政府レベルの抜本的な取り組みが不可欠。個人の自己満足に終わってはいけない。

所属

メールアドレス

kusaka.tomoaki@sanyonews.jp

氏名

日下 知章

電話番号

10 株式会社瀬戸内海放送

SDGsや探究活動に関する取組

高校生の方々の総合的な探究の時間にお役に立てればと、地域の140以上の企業様のご協力をいただき、「探究ネット」を提供しています。岡山香川の高校60校以上から利用申し込みを頂戴しています。

SDGsや探究活動に関する課題

BeLiveに参加される主体的な高校生がいる一方、探究に戸惑いまた主体的になれない高校生をどうやってサポートしていくべきか？この問いは、先生方にも同様な課題であり、主体的な先生と戸惑っている先生のGAPをどのように解消していくか？

所属

デジタル事業ユニット

メールアドレス

k-ando@ksb.co.jp

氏名

安藤 公紀

電話番号

087-864-5564

11 大松精機株式会社

SDGsや探究活動に関する取組

塗料は石油系なのでインクを使わずレーザーマーキングで名刺や革製品、金属製品、金属の水筒にマーキングこの技術の販路と新しい製品と発想

SDGsや探究活動に関する課題

所属

メールアドレス

mitsuhiro@daishoseiki.com

氏名

松永 光弘

電話番号

086-464-0707

12 中国電力株式会社 岡山支社

SDGsや探究活動に関する取組

再エネの導入拡大や火力発電の高効率化など、エネルギーの安定供給確保と気候変動の緩和の両立に向けた電源構成の構築、「中国地域の活性化」をキーとする新ビジネスへの参画やスポーツ教室の開催など、多様な人材が活躍できる環境づくりに努めている。

SDGsや探究活動に関する課題

SDGsは企業にとり、自社の存在意義や目標を説明する際の共通言語として活用できると考える。当社としても、事業活動についてSDGsをキーワードに幅広いステークホルダーとの対話を通じて、社会からの要請やニーズを事業活動に反映したいと考える。

所属

メールアドレス

氏名

電話番号

13 株式会社トヨタレンタリース岡山

SDGsや探究活動に関する取組

弊社が提供する商品は、企業で使用する車の保有台数の最適化や、ハイブリッド車を使用することで化石燃料の使用削減に貢献します。また地域の環境整備活動や、社員の健康に寄与するマラソン大会の参加費の援助、本社敷地内での献血の実施を支援しております。

SDGsや探究活動に関する課題

SDGsを意識した活動を始めて間もないので、弊社がSDGsに貢献できる活動は何かを模索している最中です。今回のイベントで少しでもきっかけを掴むことができればと考えております。

所属

リース部リース課

メールアドレス

t-kawahara@r-toyota-oka.co.jp

氏名

カワハラ タカフミ
河原 隆史

電話番号

086-246-5878

14 ネットヨタ岡山株式会社

SDGsや探究活動に関する取組

環境保護活動の一環としてエコキャンプや海岸清掃に参加

SDGsや探究活動に関する課題

継続していく難しさと具体的な数字や成果として見えにくい

所属

メールアドレス

氏名

電話番号

15 服部興業株式会社

SDGsや探究活動に関する取組

CSRレポートの発行（毎年、5年目）、CSR委員会活動（毎月1回、10名程度）

SDGsや探究活動に関する課題

継続、テーマ選定、メンバーの巻き込み等々

所属

総務部

メールアドレス

a-kai@hattori-k.co.jp

氏名

カイ アスカ
甲斐 明日香

電話番号

086-293-2111

16 平林金属株式会社

SDGsや探究活動に関する取組

AMDA社会開発機構様とのコラボで進めている「ネパールの農家支援事業」で収穫されたコーヒー豆の第一弾が今年1月に岡山へ届きました。豆の販売やカフェ事業を通じて本事業を軌道に乗せ「SDGs①貧困層をなくそう」の達成を目指しています。

SDGsや探究活動に関する課題

社内外へのSDGs活動の周知・伝達（現在、特設サイトを準備中）

所属

メールアドレス

氏名

電話番号

17 株式会社ベネッセホールディングス

SDGsや探究活動に関する取組

学校・企業・団体向けに探究活動や教育旅行、対話型鑑賞も含めた教育プログラム等の学びの場の提供を、直島・豊島・犬島をはじめ県内外の場でベネッセアートサイト直島として展開しています。

SDGsや探究活動に関する課題

学校・地域・企業の連携を更に高めたい。取り組む主体者自身が自分事として向き合った活動起点でなく、活動結果を示すための取組にとどまっている場合があることは課題。学校や地域・行政や学齢の枠を越えた連携にもさらに寄り添いたい。

所属

本社・直島統轄部

メールアドレス

manabe@mail.benesse.co.jp

氏名

マナベ シュンイチ
間部 俊一

電話番号

080-6813-8296

18 保健学科SDGsアンバサダーCopain

SDGsや探究活動に関する取組

SDGs推進を通して、岡山大学鹿田キャンパスで過ごす全ての人のため、過ごしやすい環境をつくることを目指し活動しています。大学外では、ボランティア活動や他の団体のイベントに積極的に参加しました。

SDGsや探究活動に関する課題

鹿田キャンパス内には大学病院があるため、現在大規模なイベントを行うことや外部の方に来ていただく活動が難しい状態です。ぜひ皆さまとSDGsについて考え、手を取り合い一緒に活動させていただきたいと考えています。

所属

メールアドレス

sdgscopain@gmail.com

氏名

モリモト ショウタ
森本 翔大

電話番号

070-8448-5150

19 株式会社マルイ

SDGsや探究活動に関する取組

弊社は、持続可能な循環型社会の形成につながるものとして、ワークライフバランスに取組みながら、「人材育成」「食育推進」「地域貢献」「環境」「商品・店舗」の5事業を設定し、積極的に取り組んでいます。

SDGsや探究活動に関する課題

環境先進企業として、PPAの拡大、省エネ設備の導入、お取引先様とのサプライチェーンの脱炭素化など、EA21認定企業として「脱炭素社会」の実現に向け取組を強化、まだ課題は多いと感じています。

所属
総務人事部

氏名
幸見 栄子

メールアドレス
e-koumi@maruilife.co.jp

電話番号
080-3393-8924

20 株式会社丸五

SDGsや探究活動に関する取組

17のゴールの内、3・5・8・12・17を重要項目として自社のSDGs目標を設定。各部署からSDGsメンバーを選出し、社内への理解浸透の為に社内SDGsイベントの設立や実施、社外にはHPやイベント参加、コラボで情報交換や広報を行っている。

SDGsや探究活動に関する課題

社員への認知度向上や興味をもって自主的に参加してもらうこと。
今後の活動内容の充実には何が必要か。

所属
総務部

氏名
栗田 信一

メールアドレス
s-kurita@marugo.ne.jp

電話番号
086-420-0505

21 三井住友銀行

SDGsや探究活動に関する取組

環境負荷低減・社会的課題解決型の金融商品の提供、クリーンエネルギー開発・導入、グリーンボンドの発行などを行なっております。また、地域コミュニティの支援や災害復興支援なども行なっております。

SDGsや探究活動に関する課題

- ①持続可能な金融商品の提供
- ②デジタルテクノロジーの活用
- ③SDGsに対する更なる情報開示
- ④社員の教育・啓発

所属

氏名

メールアドレス

電話番号

22 美作市議会

SDGsや探究活動に関する取組

議会、市役所内においても意識は低く、取り組みに至っていない。執行部は市長を除き、SDGsのバッジをつけて意識はしていますが、・・・レベルです。

SDGsや探究活動に関する課題

目先のことにとらわれて、先を考えるような態勢にならない。

所属

文教厚生委員会

メールアドレス
hidetamuraexpert0528@yahoo.co.jp

氏名
田村 秀昭

電話番号
090-4101-8226



第3回BeLive キックオフイベント



第3回BeLive 探究活動サポートイベント



第3回BeLive 高校教員×企業 交流イベント



第3回BeLive プレゼンテーションイベント

1 岡山県立岡山工業高等学校

SDGsや探究活動に関する取組

全HR教室に「SDGsカード」(本校独自のもの)を設置し、教科の単元がSDGsのどのゴールに該当するのか意識付けしている。探究では、OCPという探究活動プログラムを1年から3年まで連続して学んでいる。

SDGsや探究活動に関する課題

探究活動では、生徒は与えられた課題に対し積極的に取り組むことはできるが、自ら「課題を発見する」はなかなか難しいように感じている。SDGsは工業の学びと関連しているゴールが多いが、生徒教員ともに自分ごととして意識させることが課題と考える。

所属

土木科

氏名

ヤマモト シゲキ
山本 茂樹

メールアドレス

shigeki_yamamoto1@gse.okayama-c.ed.jp 086-252-5231

電話番号

2 岡山県立岡山城東高等学校

SDGsや探究活動に関する取組

探究の時間にSDGsのテーマごとに課題研究をしている。

SDGsや探究活動に関する課題

地域の企業などと連携した、課題研究に出来たら、生徒のモチベーションももっと高まる

所属

メールアドレス

ichinomiya29ki@yahoo.co.jp

氏名

シバタ ミチコ
柴田 美智子

電話番号

090-9064-9597

3 岡山県立岡山芳泉高等学校

SDGsや探究活動に関する取組

総合的な探求の時間を改定し、各教科と連携して探求的思考力の育成に取り組み始めた。総合的な探求の時間の中で、2年次ではSDGsに関連する取り組みを一つ取り上げ、課題研究をしている。

SDGsや探究活動に関する課題

「探求」についての考えをより広めるため、各教科の教員で連携する体制作りを課題としている。また、SDGsの取り組みを生徒の実体験を伴うものにしていきたい。

所属

メールアドレス

akiko_nakano@gse.okayama-c.ed.jp 086-264-2801

氏名

ナカノ アキコ
中野 明子

電話番号

4 岡山県立岡山御津高等学校

SDGsや探究活動に関する取組

2・3年次において総合的な探求の時間(校内名称ルネス学)の取組として地域の課題を発見し、解決するための探究活動をグループ単位(1グループ4人程度)でおこなっている。

SDGsや探究活動に関する課題

3年次の12月に研究発表会を設けているが、得られた成果と課題があるにも関わらず、それらが地域に十分に伝わっていなかったり、課題を踏まえて後輩が継続して研究に取り組んだりする仕組みができあがっていない。

所属

メールアドレス

yuusuke_oka@gse.okayama-c.ed.jp 086-724-0831

氏名

オカ ユウスケ
岡 祐介

電話番号

5 岡山県立笠岡商業高等学校

SDGsや探究活動に関する取組

アクティビティ(ペアや個人)を交えたSDGs入門講座を通して問題点や解決法を考える活動や課題研究(笠SHOP等)の中等で実践に取り組んでいます。自分自身も日々勉強させていただきながら、学校全体で取り組んでいけるようにしていきたいと考えます。

SDGsや探究活動に関する課題

学校全体で継続的に取り組んでいく工夫や主担当が変わったときのスムーズな引継ぎ、学校の組織づくりをどのようにしていくかが課題であると考えます。

所属

メールアドレス

yuuji_uchino@gse.okayama-c.ed.jp 090-1185-3692

氏名

ウチノ ユウジ
内野 祐司

電話番号

6 岡山県立勝山高等学校蒜山校地

SDGsや探究活動に関する取組

学校設定教科「CP (Communitybuilding Project)」を中心に、「持続可能な社会の主体的構成者」としての資質・能力の育成に取り組んでいます。「地域に生きるすべての人々が、ミライを担う次世代です」が合言葉です。

SDGsや探究活動に関する課題

急速に過疎化が進行する県北中山間地域では、高校進学段階で人口流出が始まります。生徒たちが地域の魅力を再発見し、そこに持続性を見出すためには、事業所を含めて、そこに暮らす「魅力あるオトナ」たちの伴走と、様々なバックアップが必要不可欠です。

所属

探究情報課

メールアドレス

katuyama-hiruzen@pref.okayama.jp 0867-66-2016

氏名

ウチダ ヒロフミ
内田 浩文

電話番号

7 岡山県立倉敷商業高等学校

SDGsや探究活動に関する取組

・1年次に「探Qの時間」を設け、各クラスの代表となったグループが学年発表を行っている。・倉敷の繊維製品をPRする有志生徒による「倉商ツムグプロジェクト」を行っている。PR時にはワークショップも開催。

SDGsや探究活動に関する課題

・調べ学習から探究活動へのサポートが適切にできていない不安。・振り返りを十分させられていない。・深みのある活動にしていけることが課題。

所属

氏名
オオishi チカコ
大石 智香子

メールアドレス

chikako_ooishi@gse.okayama-c.ed.jp 086-422-5577

8 岡山県立倉敷青陵高等学校

SDGsや探究活動に関する取組

倉敷青陵高校で2年生の探究活動を指導しています。生徒たちの興味や関心から楽しみながら取り組めるようアイデアを広げていき様々な社会課題へと繋げています。学外との連携を積極的に活用しています。

SDGsや探究活動に関する課題

学年の生徒数が300名以上であるため探究活動にムラがあるのが課題と感じることもあります。ただ、生徒の皆さんもご担当の先生方も、それぞれ様々な考え方があるので邪魔にならないように気をつけています。

所属

氏名
コウノ ヒロシ
河野 宏

メールアドレス

sci.comm.kono@gmail.com 086-422-8001

9 岡山県立倉敷南高等学校

SDGsや探究活動に関する取組

1年次に地域の方に話を伺い、社会の課題について知る機会を持つ。2年次に「課題研究」を行い、校内発表会でポスターセッションを行う。

SDGsや探究活動に関する課題

地球規模の課題が身近な問題と繋がっていることを意識させることがむずかしい。限られた時間で探究を深めることがむずかしい。

所属

岡山県立倉敷南高等学校

氏名
カモト アキコ
嘉本 昭子

メールアドレス

akiko_kamoto@gse.okayama-c.ed.jp 086-423-0600

10 岡山県立倉敷鷺羽高等学校

SDGsや探究活動に関する取組

総合的な学習の時間や新聞部やビジネス研究部等の部活動、各授業において、SDGsや探究活動に関する取組をおこなっている。具体的には地域の特産品を利用した商品開発、制服の回収、地域の防災に関する研究等。

SDGsや探究活動に関する課題

企業がどのような取組をしていっているのか、またどのような企業がどのような連携をとってくださるのかを知りたい。

所属

氏名
オカダ マリコ
岡田 真理子

メールアドレス

mariko_okada@gse.okayama-c.ed.jp 086-472-2888

11 岡山県立総社南高等学校

SDGsや探究活動に関する取組

高等学校の総合的な探究の時間で探究活動を企画しています。全生徒に1、2年で5回の社会貢献活動を行わせ、そこで気づいた社会課題や自分の進路に関わる課題を設定して探究活動を行わせています。

SDGsや探究活動に関する課題

地域との連携を模索していますが、全生徒の学びになるような活動とするのは難しく、実施が具体化していない。個人でやってもというジレンマもあり、校内の理解を得るべく議論しているが。

所属

氏名
タブチ シンゴ
田淵 慎吾

メールアドレス

shingo_tabuchi@gse.okayama-c.ed.jp 090-1358-6463

12 岡山県立玉野光南高等学校

SDGsや探究活動に関する取組

1・2年次で探究活動を実施（週45分）している。一部がSDGsを取り扱っている。有志の生徒が「S活」として、外部団体とも協力しながらSDGsの活動をしている。

SDGsや探究活動に関する課題

外部の組織や団体・イベントとのより良い連携方法。活動時間（生徒・教員ともに）の確保。指導する教員のスキルアップ。

所属

氏名
ヒロモト タカオ
廣本 孝雄

メールアドレス

takao_hiromoto@pref.okayama.jp 0863-51-2311

SDGsや探究活動について思うこと

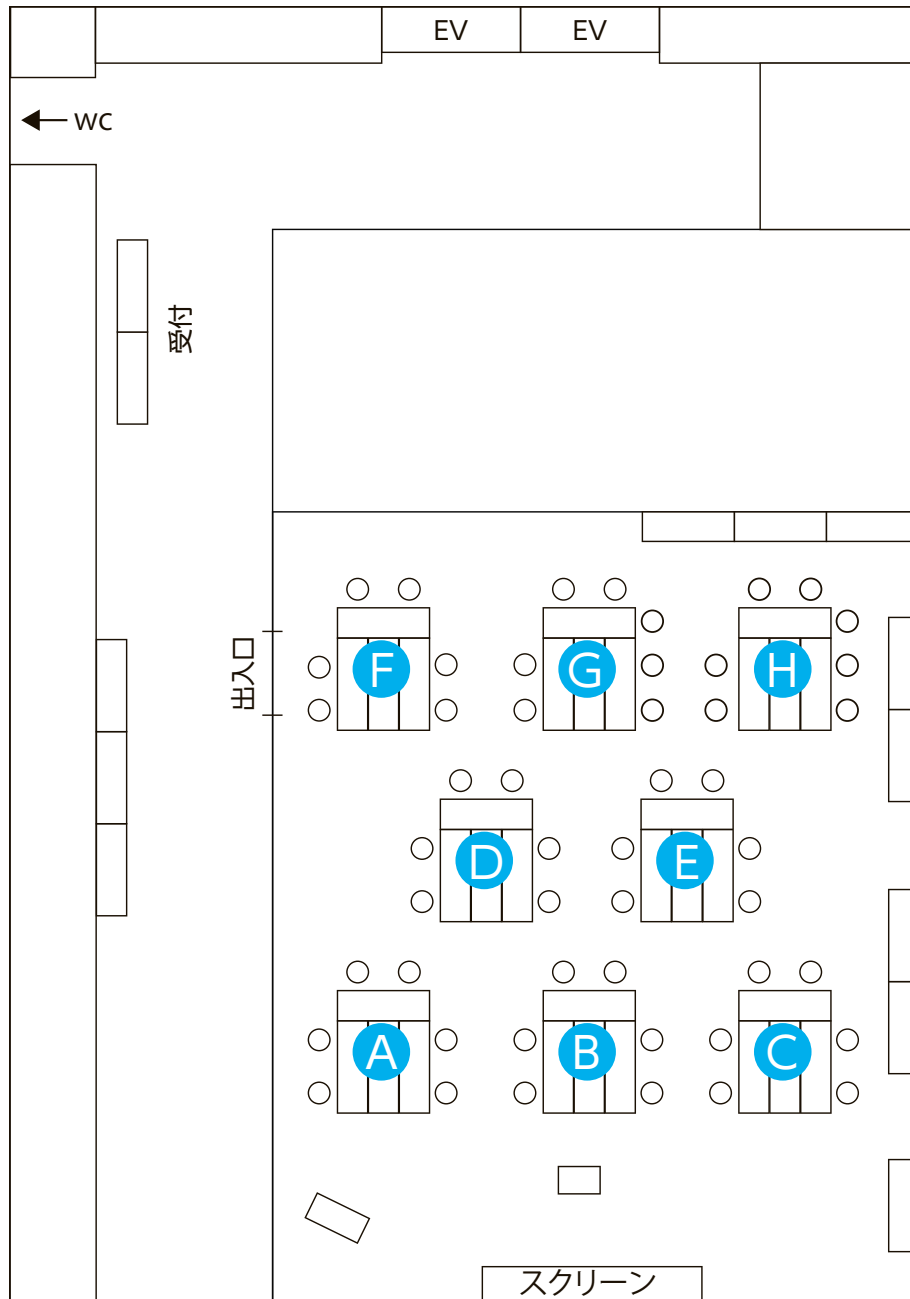
企業

- 活動の相談先として気軽にお声がけをいただきたい。ご相談に向き合い、ともに考え取り組んで参ります。
- 高校生の地域活動において、SDGsを意識するのは大変取り組みやすくなり、重要なことでもあると思っています。
- 河川はプラスチックごみが海に流出する主要なルートになっています。2017年の研究では、海へ到達するプラスチックごみの90%が、世界有数の10の大河から流れ出ているとする成果が発表されています。河川の浄化が問題解決に大きな効果をもたらすと考えています。
- SDGsをキーワードとしたパートナーシップの拡大は様々なイノベーションの誘発につながる。
- 引き続きSDGsの達成に向けた取り組みを通じて、「地域とともに成長する」という企業理念の実現に取り組んでいきたい。
- 課題を先送りすればするほど、後世にツケが回る。若い世代の啓発と並んで、昭和世代のシニア層がもっと責任を自覚し、行動に移すことが大切。自身の反省を込めて。
- 高校生の探究活動を応援することで、大人たちも多くの学び、新しい視点が得られることを知らしめていくべきだと最近感じています。
- 地域の小学校・中学校・高校・高専の学生の皆様と、様々なシーズやSDGsに着目した活動の中で、ネットワークを組成し体感いただくことは、大変価値あることだと感じています。特に、食育活動は、学生や学校関係の皆様のご関心も高く、体験学習への声掛けも多数いただいています。今後、このような活動のすそ野が広がるのが、地域で活躍する人財を育むことにも繋がると考えています。

高校

- いつも考えていることは、「高校生たちが『自分事』として取り組むSDGs」、地に根付いた活動です。「高校生が取り組む〇〇」というトピックは、確かに人目を引く話題性を持っていますが、その活動によって「地域の持続可能性」が向上したのか、という検証は（自戒を込めて）不十分だったように思います。即効性は求めないにせよ、「自分たちの力は、確かに社会を変えていくことができる」という実感が得られる活動を求めて、試行錯誤を重ねています。
- 高校生の行う探究活動を通じた高校魅力化の最終目的地点が、地方創生やUターンへの創出につながるカリキュラム開発のためにできることを行いたい。
- SDGsの考え方も探究活動も工業高校の学びにおいてとても重要な役割を果たしていると考えている。工業高校の学びの特性上、探究活動は個人より複数で行う（チームとして活動すること、何らかのものづくりに関連することを意識して指導している。探究活動を進めるためには「課題解決型学習（PBL）」という学習方法が有効だと考えている。
- 生徒が身構えずに始めたり続けられたりするように、指導者として身構えずにられる備えがしたい。
- 勉強したら将来役に立つと言えばよかった時代ではないため、1、2年では学習意欲に乏しい現状がある。学習の動機づけとして、キャリア教育として、探究活動にリソースをもっと使うべきと考えている。ただ、SSHのように学術的な意義を追究することは質量ともに難しいため、活動の意味や価値を生徒に感じさせるための仕掛けが大切だと思うが、アイデアがない。
- 課題を押し付けるような活動にならないよう気をつけています。好きなことに没頭できるような状態になれば、生徒たちは自主的に様々な活動をはじめます。没頭できる環境を整えていくのが探究活動の指導と考えています。
- SDGsについては校内で普及してきているが、実体験を伴うものになっていない。アウトプットの部分で、企業の方と連携を図ることができるか検討していきたい。

第4回BeLiveキックオフミーティング会場配置図



会場内でのお願い

- マスクの着用については任意です。手指消毒等の基本的な感染対策をお願いいたします。
- 激しい咳等の症状がみられる場合は、参加のお断り、座席の移動等をお願いする場合がございます。
- 4階会議室以外のフロアへの立ち入りはご遠慮ください。
- お手洗いは会場を出て右手奥にあります。
- 自販機がございませんので、飲み物が必要な方は、建物を出て左手のコンビニをご利用ください。
- 会場内では、携帯電話をマナーモードにさせていただきますようお願いいたします。

参加者アンケート

本日はご参加ありがとうございました。今後のイベント運営の参考にしますので、右記のQRコードよりアンケートにご協力ください。

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSchjkEy5zPV4675U7Vx0w2ge5bQfUMt3iqL1j0yh71qqpezQg/viewform>



おかやまSDGsマップ

本日参加いただいた企業様以外にも、県内のSDGsに取り組む企業様がたくさん掲載されています。探究活動にぜひ活用してください。

<https://okadoyu.jp/wp2018/wp-content/uploads/2021/03/SDGs-Maplow.pdf>

